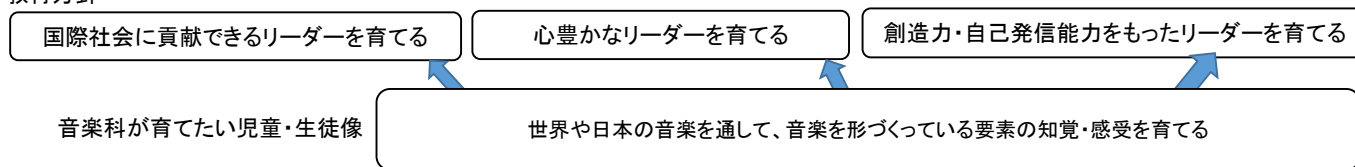


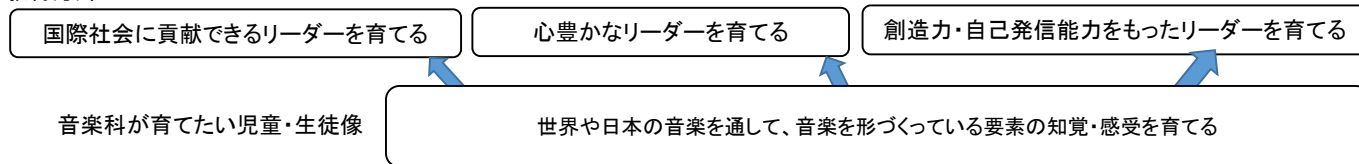
教育方針



5年

月	学習項目	題材のねらい	学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	ゆたかな歌声をひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想を生かしながら自然で無理のない歌い方で歌ったりする。	・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。	Believe	
5			*曲の感じを生かして、明るくひびきのある声で歌いましょう。	◎このほり	【Ⅰ】リズムの違いに気づこう
6		●楽器の音の特徴や音色の違い、旋律とリズム、旋律と伴奏が重なり合う響きを味わって聴いたり、演奏したりする。	・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	小さな約束	【Ⅲ】相手のパートを聴きながら響きを感じよう
7	いろいろな音のひびきを味わおう  和音の美しさを味わおう	●楽器の音色や音が組み合わさる響き、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。  ●Ⅰ、Ⅳ、Ⅴなどの和音の違いを感じ取ってiPadで演奏したり、和音の響きの変化を感じ取って歌ったりする。	・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。  ・和音の移り変わりを感じながら演奏・合唱しましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章  ♪双頭のわしの旗の下に  静かにねむれ	【Ⅰ】ユニゾンと合奏の響きの違い 【Ⅰ】パートや楽器の役割の違い
9	曲想を味わおう	●曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて体を動かしながら聴く。	・曲想の移り変わりを感じ取りながらききましょう。	♪威風堂々 第1番	【Ⅲ】体を使って楽曲の構成を感じ取ろう
10		●言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。	・言葉の感じや曲想を生かして歌いましょう。	まっかな秋	
11			・曲想を生かして合奏しましょう。	キリマンジャロ	【Ⅲ】教え合ったり、他のグループの演奏を聴いてアンサンブルを完成させよう
12	詩と音楽を味わおう	●言葉の感じと旋律とが一体となって生み出す日本歌曲の美しさを味わいながら聴いたり、歌ったりする。	・日本語の言葉の感じを生かした歌曲を楽しみましょう。  *歌詞の表す情景を思いうかべながら、強弱記号に気をつけて歌いましょう。	♪山田耕筰の歌曲（待ちぼうけ／赤とんぼ／この道）  ◎冬げしき	【Ⅰ】日本語のイントネーションと音程が共通していることに気づこう  【Ⅰ】声域によって曲の感じが変わることを知る。
1	日本と世界の音楽に親しもう	●日本や世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを味わい、それらの特徴を感じ取って聴く。  ●日本の旋律のもつ特徴や美しさを感じ取りながら歌ったり、音楽の仕組みを生かしながら見通しをもって日本の音階の音で旋律をつくったりする。	*旋律の音の上がり下がりやリズムの特徴を生かして歌いましょう。  ・和楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。  *日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。  ・日本の音階を使って旋律をつくりましょう。	◎スキーの歌  ♪春の海  ◎子もり歌  ☆音階の音で旋律づくり	【Ⅲ】同じ日本の曲を和楽器と西洋楽器と比較し、和楽器の音色を知る
2			・声による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。  ・曲想を生かして表情ゆたかに演奏しましょう。	♪声による世界の国々の音楽  小さな鳥の小さな夢	【Ⅱ】世界の音楽を聴いて、文化や宗教の違いを知る
3	心をこめて表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	8送会合唱曲	

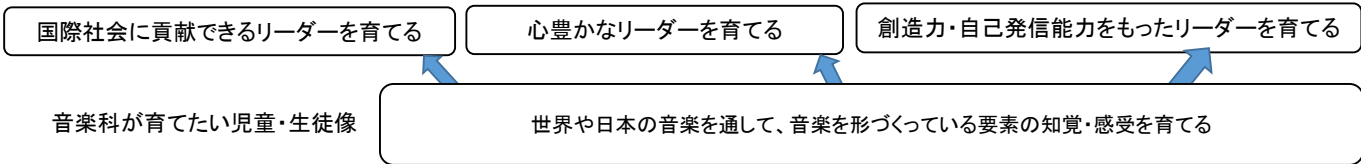
教育方針



6年

月	学習項目	題材のねらい	学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	豊かな歌声をひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想にふさわしい歌い方を工夫して思いや意図をもって歌ったりする。	・明るくひびきのある声で歌いましょう。	つばさをください	
5			*曲のまとまりや強さの変化に気をつけて、曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	◎おぼろ月夜	【Ⅰ】音程と強弱が連動していることに気づく 【Ⅲ】歌詞の内容からわからない単語の意味を調べ、情景を理解する
6		●パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。	・曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。  ・オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	星空はいつも  ♪木星	【Ⅰ】同じメロディーが繰り返される中での変化に気づこう
7	いろいろな音の響きを味わおう	●楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。	・パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。  * 曲想を生かして歌いましょう。  ・打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	ラバース コンチェルト ♪メヌエット  ◎われは海の子  ☆リズムをつくってアンサンブル	【Ⅰ】足し算を使って楽譜を作ってみよう
9	和音の美しさを味わおう	●和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合唱したり合奏したりする。  ●和音に含まれる音を用いて、まとまりのある旋律をつくる。	・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	星の世界	【Ⅰ】単旋律と和音の響きの違いに気づこう
10	曲想を味わおう	●曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴や重なり方を生かして歌ったり、パートの役割にふさわしい楽器や演奏の仕方でも演奏したりする。	・和音の移り変わりを感じながら演奏しましょう。  ・和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。  ・旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現のしかたを考えて歌いましょう。	雨のうた  ☆和音の音で旋律づくり  広い空の下で	【Ⅲ】プログラミングで和音を感じよう
11		●曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲の構造を理解して聴く。	・曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番	【Ⅲ】体を使って強弱や速さを感じとる
12		●歌詞と旋律とが一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。	・曲にこめられた思いを感じながら歌いましょう。	思い出のメロディー	
1	詩と音楽を味わおう  日本と世界の音楽に親しもう	●日本に古くから伝わる歌と楽器の音色を味わって、聴いたり歌ったりする。	・言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わいましょう。  * 歌詞の内容を理解して、曲想を味わいながら歌いましょう。  * 日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌いましょう。	♪滝 廣太郎の歌曲(花箱根八里)  ◎ふるさと  ♪雅楽「越天楽」から	【Ⅰ】声部の変化による響きの違いに気づこう
2		●世界の国々の楽器の音色の特徴や、音楽の雰囲気の違いに気をつけて聴き、諸外国の音楽に親しむ。	・楽器による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪楽器による世界の国々の音楽	【Ⅱ】世界の楽器と文化を知ろう
3	心をこめて表現使用	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・曲想を生かして表情豊かに演奏しましょう。	8 送会合唱曲	

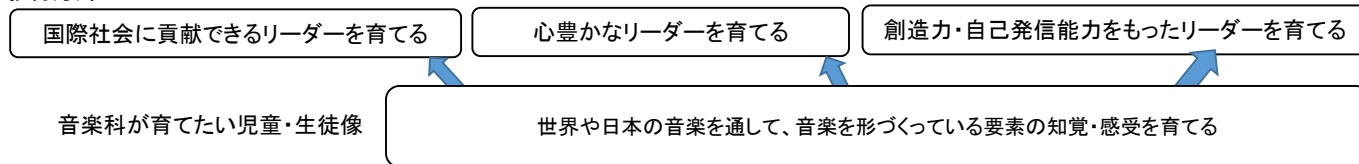
教育方針



7年

月	学習項目	題材のねらい	教材名	学習目標	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
1学期	新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	We'll Find The Way～はるかな道へ My Voice!	拍の流れによって明るい声で歌おう。 自分も持っている歌声を見つけよう！	
	曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。	主人は冷たい土の中に	曲の構成を感じ取って演奏しよう。	【Ⅰ】フェルマータの効果を考える
			BINGO GAME	音符、休符、記号の名前を確認しよう。	
			RHYTHM GAME	下の図を使ってリズムをつくりましょう。	
音楽の特徴から情景を想像しよう	●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	◎春一第1楽章―	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。	【Ⅲ】詩と曲想を一致させ、繰り返されるメロディーから楽曲の構成を理解する	
2学期	曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう	●リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	◇アルト リコーダー LESSON 1 (p.3～9)	リコーダーを演奏しよう。	【Ⅰ】ソプラノリコーダーとの違いを知り、指使いを覚える
			◇聖者の行進 (p.50)	曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。	
			エーデルワイス	3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。	
			Michael, Row The Boat Ashore	階名で歌って、ハーモニーを楽しもう。	
詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう	●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	◎魔王	詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取ろう。	【Ⅲ】登場人物によって、曲調が変わっていることに気づく	
曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を考えながら表現を工夫して合唱する。	パフ	へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。	【Ⅲ】同声2部と混声2部の響きの違いを考えよう	
		飛び出そう 未来へ	歌詞の内容を感じ取り、拍の流れによって歌おう。		
3学期	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	心の歌 赤とんぼ (共通教材)	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	【Ⅰ】メロディーとイントネーションの共通点に気づこう
			歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	●箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。	◎六段の調	日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。―箏曲―	【Ⅲ】西洋楽器と邦楽楽器の違いに気づき楽器の歴史を知ろう
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	8送会合唱曲	仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱しよう。	
指揮をしてみよう！			指揮をするときのポイントをつかもう。		

教育方針



8年

月	学習項目	題材のねらい	教材名	学習目標	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
1学期	曲想を生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	夢の世界を	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れによって合唱しよう。	
			BINGO GAME	音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。	
			RHYTHM GAME	下の図を使ってリズムをつくりましょう。	
			◇アルト リコーダー LESSON 2(p.10~13)	リコーダーを演奏しよう。	
1学期	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら表現を工夫して合奏する。	翼をください	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。	【Ⅰ】小6の同声2部と比較し、違いを見つける
			◇ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。	
1学期	詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	心の歌 夏の思い出(共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしてお歌おう。	【Ⅲ】分からない単語を調べ楽曲の情景を思い浮かべる
			夏の日の贈りもの	旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌おう。	
1学期	曲の構成を理解して、曲想を味わおう	●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもともとなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復、変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	◎交響曲第5番 八短調	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。	【Ⅰ】提示部の気づきから構成を知る
			Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくらう。	
2学期	日本の歌やカンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌やカンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	心の歌 荒城の月(共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	【Ⅰ】イタリア語や西洋の発声の違いに気づく
			サンタルチア	曲想を生かして表情豊かに歌おう。	
			歌い継ごう 日本の歌・一貫部校歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	
2学期	曲の構成を理解して、曲想を味わおう	●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、パイプオルガンの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	フーガ短調	旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう。	【Ⅰ】似た構成の楽曲と聞き比べて違いを見つける
3学期	オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	◎「アイダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	【Ⅰ】歌曲とオペラの違いについて気づく
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	8送会合唱曲 指揮をしてみよう!	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	